

## 資料2 基本的指導過程

- 1時間または数時間のまとまりのある授業で展開する。
- 教科や授業によって部分的な扱いになることもある。

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	(既習事項の整理)	1 教材内容を明確にとらえる。 2 生徒の実態を的確に把握する。 3 指導目標を明確にする。 4 学習意欲を高める工夫をする。 ①学習の動機づけの工夫(驚き・疑問・当惑) ②到達度を知らせる。 ③生徒の疑問・意見を吸い上げる。
	1 学習課題の把握 2 学習課題の設定	5 到達可能な目標を設定、または選択させる。 ①生徒の声を反映させる。 ②行動目標の掲げ方をする。
展 開	3 課題解決のための方法の確立または選択(学習計画立案)	6 学習の順序・方法についての補助説明をする。 ①生徒の発想を生かす。 ②自己決定の場の設定
	4 個別・ペア・小集団学習 ・自分の計画に従って自己学習 ・協力し励まし合って学習 ・教科書・学習の手引を活用し学習の方法を身につける。	7 主体的に活動できる場の設定をする。 ①学習指導の多様化(教材準備、学習形態の工夫) ②内容の精選により時間的ゆとりを与える。 ③中心となる活動を押さえる。 ④資料を活用させ自己学習を展開させる。 ⑤個別指導を重視する。 ・方法の分からない生徒を中心に「学習の仕方」を身につけさせる。 ・個に応じた学業指導の徹底を図る。
終 末	5 発表による学習の深化 ・積極的な発言 ・真剣に聞く態度 ・自分の学習と比較	⑥学習集団としての環境づくりに努める。 8 成就感を感じさせるよう配慮する。 ①基本的学習訓練を徹底する。 ②承認・賞賛のできる集団の雰囲気づくりに努める。
	6 学習内容の把握 ・ノートづくり ・積極的に質問する態度の重視 ・評価問題による学習状況の把握 ・理解不足内容の再学習 ・練習問題による学習内容の定着	9 基礎的・基本的内容の定着を図る。 ①適切な指示・提示・説明による指導の徹底(基礎・基本の洗い出し) ②形成的評価によるつまずきの実態の把握に努める。 ③つまずきの治療法を与える。 ④練習の機会をできるだけ多くする。
終 末	7 本時の学習成果の確認 ・自己評価による学習状況の反省 ・発展的課題の確認	10 学習の成果が意識できるようにし自主的学習態度の育成に努める。 ①自己評価・相互評価により確かめを適切に行う。 ②評価尺度を工夫し、次の学習の意欲づけとなるようにする。 ③自己評価・相互評価と教師が行う評価との有機的な関連を図り、生徒の実態把握に努める。
	8 次時の課題の確認 ・家庭学習による予習につとめる。	11 本時の課題と次時の課題の系統性・発展性を押え意欲を与える。

- イ、学年諸活動の企画・立案・運営  
 (2) 生徒会活動の充実  
 ① 年間活動計画の段階指導と活動内容の広報活動  
 自主的活動推進のために長期的見通しに立ち計画・実践・評価を行わせた。また、広報活動を活性化させ、活動内容を周知させることにより活動を盛り上げ、着実な成果を残した。

- ウ、球技大会  
 エ、文化祭  
 ② あいさつ運動の展開  
 ③ リーダー講習会の開催  
 ④ 集会活動の自主運営  
 生徒主体の活動に移行させることにより、実践意欲の高揚が見られる。  
 ⑤ 奉仕的活動の推進  
 活動を通して豊かな情操が培われる。例年行ってきた白鳥の餌集めは環境緑化、校内美化作業などの輪と

- なつて広がりつつある。
- 生徒指導部
- (一) 研究のねらい  
 「基本的生活習慣の確立を図り、自ら進んで行動できる生徒を育成する」
- (二) 実践内容

- (1) 生徒理解の深化  
 生徒個々の指導の方策は生徒理解に始まり、指導の効果も生徒理解によって明らかになる。共感的理解に立つ基本的生活習慣の確立の基盤を生徒理解に求めた。
- ① 定期教育相談、チャンス相談、呼び出し相談の実施

